

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせなどを定期的に発信します。今回は、実際の事業所でどのような防災に取り組んでいるのかをご紹介します。皆さんも参考にしてみましょう。

【事例紹介】ハイアット セントリック 銀座 東京

約90%が海外からの宿泊客であり、若い世代の従業員が多い同社の取組をご紹介します。



防災への取組

天気予報の確認・注意喚起

防災担当者が天気予報を確認し、台風や大雨・大雪の際は事前に**全従業員**へ周知、注意喚起をしています。



従業員の声

従業員には**若い世代**も多く、ニュースや天気予報を普段から見ていない場合があります。社内メールや所属長から連絡することで**初めて大雪などを認識する**ケースもあり、「事前に知ることによって家を早めに出るなど気をつけることができ、助かります」との声があります。



海外のお客様向け館内放送



海外のお客様は地震に慣れていないので、震度4の地震でも、屋外へ避難しようとしたり、フロントに問い合わせる人もいらっしゃいました。そこで、館内放送に「**問題ないこと**」を伝える内容を追加しました。

Before

緊急地震速報や避難時のみ放送



After

安全であることも放送



防火防災訓練

新入社員へのトレーニング

中途社員・新卒社員ともに、入社時の研修で実践的な防災トレーニングをしています。

入社時

- ✓ 災害発生時の流れ
- ✓ 消火器・消火栓・AEDの使用方法
- ✓ 防火戸・排煙口の仕組み
- ✓ 避難経路・避難口の確認



実際に**現場で、状況を想定して説明**すると**現実的**になり、真剣に話を聞いてもらえます。



3か月後

簡単なテストをし、振り返りを実施。**入社早々**に防火防災に関するトレーニングを行うと、他人事ではなく**自分事**として考えられるようになり、例えば、防火戸や排煙口・消火栓周辺の整理など積極的に取り組んでいます。



コロナ禍での工夫

コロナ禍では、防災訓練を従来の集合形式で行えず、教育が難しい状況でした。そのような状況でも防災意識を維持できるよう工夫しました。

- 東京消防庁「**電子学習室**」の活用
- YouTube動画の活用
→複数の消防本部が掲載する動画の中で、施設に合った内容や分かりやすいものを厳選しました。



従業員の声

「分かりやすく面白い内容だったので飽きずに最後まで見られた」という感想を聞きました。

担当者より

多様な働き方が進んでいるので、**防災の意識を継続できる工夫**が必要だと感じています。

事業所概要

ハイアット セントリック 銀座 東京

- 連結従業員数:102名(2025年2月現在)
- 業務内容:宿泊事業

東京消防庁からのお知らせ

東京消防庁では、毎月、季節やそのときどきで問題になる防災にまつわる事柄をテーマに情報発信をしています。今月は「**自衛消防訓練～もしもの時に備えて訓練していますか？～**」をピックアップしています。是非ご覧ください！

東京消防庁HP →

